

チビリンピック 2024 JA 全農杯 全国小学生選抜サッカー決勝大会

1. 主 旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに
8人制サッカーの底辺拡大につとめる。
2. 名 称 チビリンピック 2024 JA 全農杯 全国小学生選抜サッカー決勝大会
3. 主 催 日刊スポーツ新聞社、公益財団法人横浜市スポーツ協会
4. 後 援 朝日新聞社、公財日本サッカー協会、文化放送
5. 特別協賛 全国農業協同組合連合会（JA 全農）
6. 協 力 一社神奈川県サッカー協会
7. 期 日 2024年5月3日（金）～5月5日（日）
8. 会 場 日産スタジアム、日産フィールド小机
しんよこフットボールパーク、第2運動広場
9. 宿 舎 新横浜プリンスホテル
10. 表 彰 優勝：JA全農杯、表彰状、メダル、副賞
準優勝：表彰状、メダル、副賞
第3位（2チーム）：表彰状、メダル、副賞
11. 参加資格
 - ・大会実施年度に日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであり、そのチームに所属する選手であること。
 - ・都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
 - ・引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任者であること。
 - また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が日本協会公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を有すること。
12. 参加チーム数 各地域予選大会を勝ち進んだ地域代表 16チーム
北海道1、東北2、関東3、北信越1、東海2、関西2、中国2、四国1、九州2
13. チーム構成と条件 原則として、引率指導者2名以上3名以下、小学6年生を主体とした選手16名以上20名以下とする。
14. 選手登録 参加申込書に必要事項を記入の上、**4月17日（水）までに**下記宛先に送付
<提出先>
日刊スポーツ川本宛までメールにて送付すること。
s-kawamoto@dt-e.jp

<<選手変更>>
登録選手の変更については、3名を上限に認めることとし、5月3日（水）代表者会議終了までに届けること。
15. 組み合わせ 主催者で抽選する。
16. 大会形式 1次ラウンド：16チームを4グループに分け、
1グループ4チームのリーグ戦を行い、各グループ上位2チームが

決勝トーナメントに進出する。

※順位決定は、勝点合計の多いチームを上位とする。

勝点は、勝ち：3点 引分け：1点 負け：0点とする。

但し、勝点と同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。

決勝トーナメント：上位8チームによるトーナメント戦を行う。

(3位決定戦は行わない)

17. 競技方法 公益財団法人日本サッカー協会競技規則「JFA8人制サッカー競技規則」による。
但し、以下の項目については大会規定を定める。

- (1) プレーの時間：36分（12分×3ピリオド）
- (2) インターバル（ピリオド間）：第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、5分とする。
- (3) エンドの決定：第2ピリオド後もエンドを替え、約半分が経過したところでサイドチェンジする。タイミングは審判にゆだねる。再開方法はキックオフとする。
- (4) 試合の勝者を決定する方法（36分で勝敗が決しない場合）
1次ラウンド：引分け
決勝トーナメント：6分（3分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式を採用。試合終了時に出場している3選手により勝者を決定する。
延長戦に入る前のインターバル：5分
PK方式に入る前のインターバル：1分
- (5) 選手の交代
 - ・競技者の数は、常に8人（うち1人はGK）とする。
 - ・原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
 - ・第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。
 - ・交代要員含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。
 - ・事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。（延長戦はピリオドの数に含まない）

① 1ピリオド

- ・予め決められた、第1ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。
交代要員：提出したメンバー表出場印がついていない選手
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）

② 2ピリオド

- ・予め決められた、第2ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。
第1ピリオドで交代して出場していても出場はできる。
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）

③ 3ピリオド

- ・第1、第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。

・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

④ 延長戦

・交代要員含め誰でも出場できる。

・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

(6) 交代の手續

・交代して退く選手は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。

・交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。

・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。

ただし、交代で退く選手が負傷している場合は、
主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

・交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

・ゴールキーパーは事前に主審に通知した上で試合の停止中に入れ替わることができる。

(7) テクニカルエリア：設置しない。

(8) ベンチに入ることができる人数
15名以内（交代要員12名以内、引率指導者3名以内）

(9) 審判員：1人の主審と補助審判が指名される。

(10) アディショナルタイムの表示：実施しない。

(11) ファウルと不正行為：

・警告・退場：通常の競技規則に準ずる。

・退場：当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。

退席処分：ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

・大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

・本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。

(12) 飲水タイム：採用しない。

(13) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるため入場を許される引率指導者数：2名以内

(14) 登録選手証：本大会出場する選手は、日本協会発行の選手証を持参すること。
ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。
選手証とは、本大会では、日本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧証を印刷したものを示す。
ただしスマートフォンやPC等の場面に表示したものは、本大会では不可とする。

(15) 競技場：天然芝および人工芝のグラウンドを使用する。

(16) ピッチサイズ：縦68m×横45mの大きさを使用する。
ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角12m
ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角4m
センターサークル：半径7m
ペナルティマーク：8m
ペナルティアーキ：半径7mの半円弧
フリーキック時の壁との距離：7m

(17) ゴール：ゴールの内のり縦2.15m、横5m

- (18) ボール：4号球
- (19) コーナーキック：ボールがインプレーになるまで相手競技者は、コーナーアークから7m以上離れる。
- (20) グリーンカードの導入
- (21) ユニフォーム：
① 試合に際しては、大会参加申込の際に登録している正・副2色のユニフォームを用意すること。
② 日本協会「ユニフォーム規定」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
③ ソックスにテープまたは其の他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
④ アンダーシャツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
⑤ GKを交代させる場合は当該選手背番号のGKユニフォームを着用すること。
- (22) 費用 参加20名分（引率指導者2名、選手18名）を最大として、大会事務局で旅費・宿泊費を下記のとおり補助する。
・旅費：チーム所在地より会場最寄り駅（JR新横浜駅）まで下記20名分の普通乗車運賃を補助する。
選手18名＜小人往復運賃＞ 引率指導者2名＜大人往復運賃＞
・宿泊費：
5月3日～4日の宿泊費・食事（3日夕食、4日朝・夕食、5日朝食）を主催者負担とする。5月4日、5日昼食は各チーム手配とする